

宮城県秋の交通安全県民総ぐるみ運動に参加！

～損保各社が交通安全を呼びかけ～

日本損害保険協会東北支部（委員長：菊田 政寛・損害保険ジャパン株式会社 執行役員 東北エリア本部長）は、9 月 18 日（金）に開催された宮城県「令和 8 年秋の交通安全県民総ぐるみ運動」に参加し交通安全・事故防止を呼びかけました。

県民総ぐるみ運動は 9 月 21 日（月）から 30 日（水）までの 10 日間行われるもので、「歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進」、「夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や『ながらスマホ』の根絶」、および「自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底」の 3 点が運動重点として実施されます。

当日は、県副知事、宮城県警察本部長や交通安全関係の諸団体から約 300 名の参加があり、プロバスケットボールチーム「仙台 89ERS」で活躍中の片岡 大晴選手がチームキャラクターのティナや 89ERS チアーズとともに参加し、交通安全メッセージを発信しました。損保業界からは、損保各社等から 12 名が参加し、県民への呼びかけを行いました。

当支部では今年度も引き続き、宮城県をはじめ東北 6 県における交通事故の防止・削減に向け、各種啓発活動を進めてまいります。



会場の様子



片岡選手からの
交通安全メッセージ